

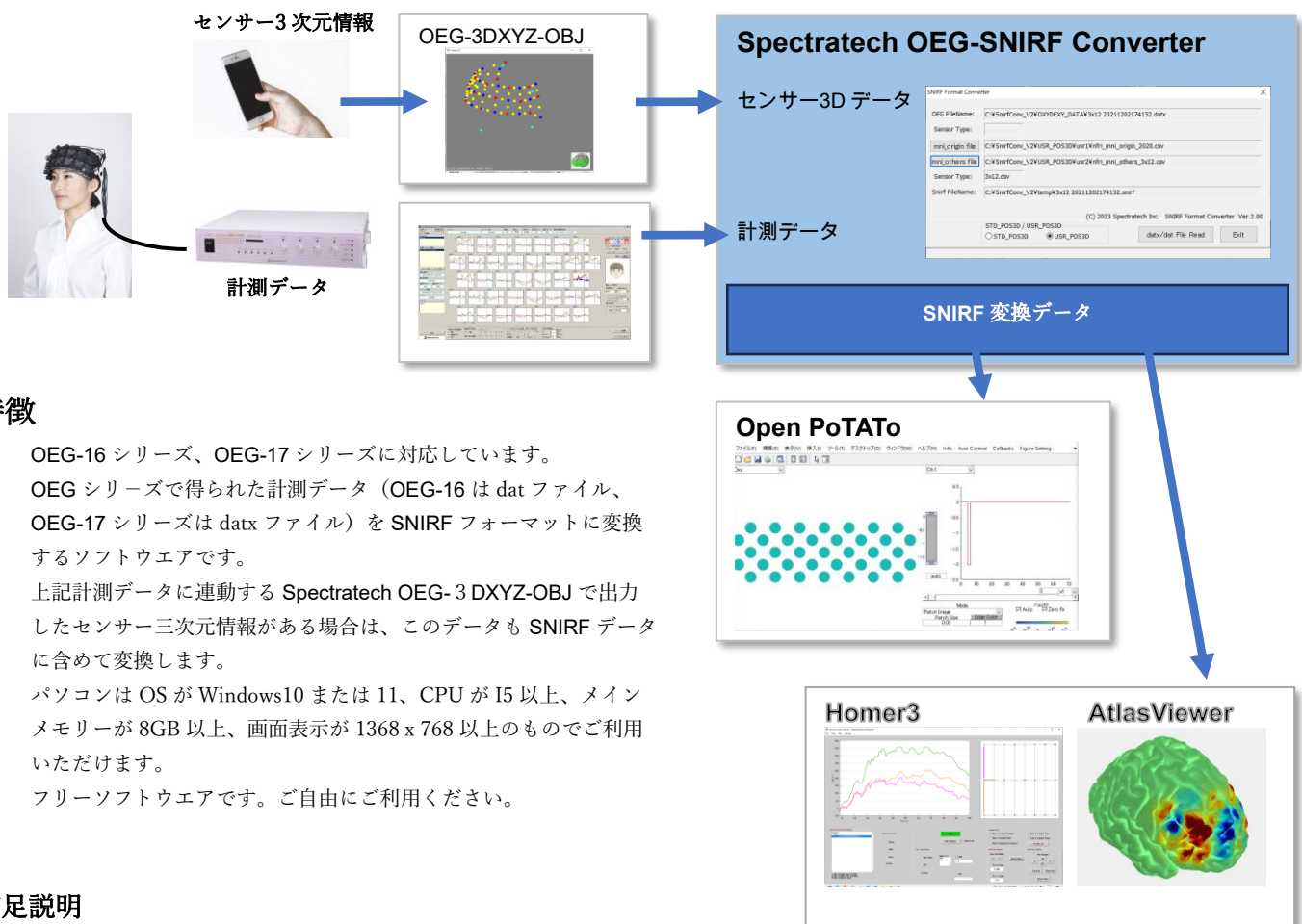
Model : Spectratech OEG-SNIRF Converter

従来、各 fNIRS メーカーが提供する計測データフォーマットは各社の独自フォーマットでした。一方、各研究機関が提供する解析ソフトウェアの入力フォーマットも独自フォーマットでした。そのため、研究者にとっては各種の解析を行いたく各解析ソフトを利用しようと思っても、そのたびに個別の変換作業が発生し不便でした。

SNIRF(Shared Near Infrared Spectroscopy Format)は fNIRS の普及を願って出来たコミュニティ¹の皆さんが標準化作業している計測データフォーマットです。このコミュニティの理想は SNIRF に従った計測データであれば、どの fNIRS メーカーのデータでも、SNIRF をサポートするどの解析ソフトウェアでも共用できるというものです。

弊社でも一早く、この SNIRF に対応する変換ソフトウェア Spectratech OEG-SNIRF Converter を提供開始しました。現在、この変換ソフトウェアで作成された SNIRF データは Open PoTATo²、HOMER3/AtlasViewer³で動作確認できています。

1. [Introduction to the shared near infrared spectroscopy format - PubMed \(nih.gov\)](#)
2. [open-potato/README_EN.md at master · hkwgc/open-potato · GitHub](#)
3. [Homer and AtlasViewer – openfnirs](#)



特徴

1. OEG-16 シリーズ、OEG-17 シリーズに対応しています。
2. OEG シリーズで得られた計測データ (OEG-16 は dat ファイル、OEG-17 シリーズは datx ファイル) を SNIRF フォーマットに変換するソフトウェアです。
3. 上記計測データに連動する Spectratech OEG-3 DXYZ-OBJ で出力したセンサー三次元情報がある場合は、このデータも SNIRF データに含めて変換します。
4. パソコンは OS が Windows10 または 11、CPU が I5 以上、メインメモリーが 8GB 以上、画面表示が 1368 x 768 以上のものをご利用いただけます。
5. フリーソフトウェアです。ご自由にご利用ください。

補足説明

Homer3 と AtlasView は Runtime 版がサポートされています。すなわち MATLAB 本体を必要としません。インストールしないでご利用できます。Open PoTATo は MATLAB 本体のインストールが必要です。下記の組み合わせで動作確認してあります。

Open PoTATo MATLAB 2022a + Open PoTATo + preproSNIRF.m + read_snirf.m
 Homer3 MATLAB Runtime R2017b (9.3) + Homer3,V1.802 Latest
 AtlasViewer MATLAB Runtime R2017b (9.3) + AtlasViewer_V2_16_1_win_R2017b

本ソフトウェアはおお客様の研究目的用に開発された製品です。その他のご利用方法は固くご遠慮願います。製品の改良その他により予告なく適宜改訂されます。



株式会社スペクトラテック

営業所 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 1-3-10 新横浜 I.O ビル 3 階
 電話 : 045-471-4893 ファックス : 045-471-4894
 URL: www.spectratech.co.jp